

PI 外環沿線協議会の進め方提案

- グループ討議について -

1. 提案の理由

- ・ これまでの協議会の状況等を見ると、協議員の人数が多く発言機会が制約されたり、一人当たりの発言時間が短い等で、十分意見が出尽くされていないのではないか。
- ・ 必要性の有無（効果と影響）の資料等の議論を活性化するためには、一人当たりの質疑、主張等を多くする必要がある。
- ・ そこで、グループ単位での議論を提案する。

2. 協議会の進め方

<案1>

1回の協議会の中で、グループ討議とそのとりまとめを行う。

協議会の進め方

- ・ はじめ20分：事務局より報告事項、資料説明、検討課題の提示
- ・ 中間 60分：グループ単位での議論
30分：グループ毎の議論結果報告、全体での議論
- ・ 終わり10分：事務局より課題整理、次回議題の確認、報告事項

<案2>

月2回の協議会のうち、原則、1回をグループ討議、1回を全体会とし、交互に開催する。

グループ討議の進め方

- ・ はじめ（概ね20分）：事務局からの報告事項、資料確認等
- ・ 中間（概ね90分）：グループ毎の討議
- ・ 終わり（概ね10分）：事務局で整理

全体会の進め方

- ・ 各グループからの討議報告後、全体で議論。

3. グループ割

- ・ 外環計画の延長が長いことから、地域毎の特徴が異なる。
- ・ 地域特性や外環計画との影響関係（JCT、IC）等から沿線の北部、中部、南部の3つに分ける。

4. グループ討議での役割分担

- ・ 進行役：協議員の互選又は事務局
- ・ 書記：事務局
- ・ 議論：各協議員